

# AI歩行分析システム「トルト」導入のご案内

この度、当施設では、最先端のAI歩行分析システム「トルト」を12月15日より導入することとなりました。リハビリテーションや健康指導において、ご利用者の「歩行」の状態を正確に把握することは、適切な計画を立てる上で非常に重要です。しかし、従来の目視による評価では、評価者の経験や主観に左右されることがあります。

トルトの導入により、この課題を解消し、誰でも**客観的で信頼性の高い歩行データ**に基づいて、より質の高いパーソナライズされたケアを提供いたします。

## AI歩行分析システム「トルト」の主な機能

### 1.高精度AIによる多角的分析

歩幅、速度、バランス、左右差など、20項目以上の詳細な歩行データを自動で数値化・可視化します。

### 2.簡単・非接触な測定

カメラの前を歩くだけで測定が完了するため、ご利用者様の負担が少なく、日常的な状態変化を把握しやすくなります。

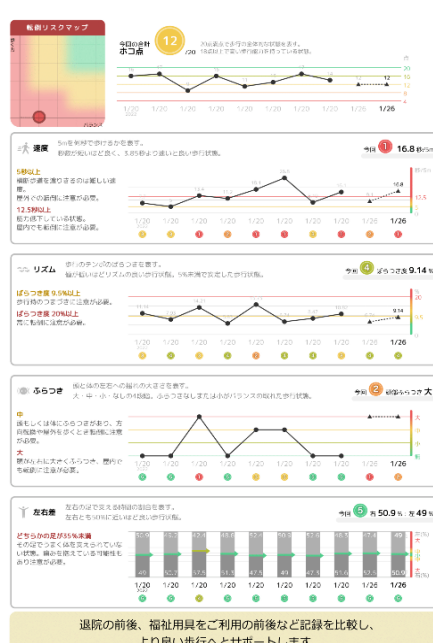
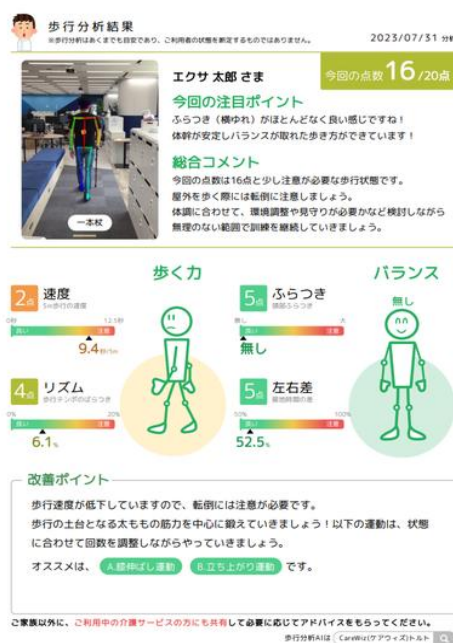
### 3.経過の「見える化」

測定結果をグラフやレポートとして出力し、リハビリテーションの**効果を客観的に**確認できます。利用者様のモチベーション維持にもつながります。

### 4.リスクの早期発見

わずかな歩行の変化から**転倒リスク**や健康状態の変化を早期に察知し、未然の対策につなげます。

## 【歩行分析結果イメージ】



## おすすめの運動トレーニング

**歩行分析**  
**C 足踏み運動**  
20回×1セット

足踏みの前後の範囲（前後動）を鍛える運動です。  
不安な場合は座位で行ってください。

① 手すりを持ち、バランスを取ります。  
② 姿勢を正し、片足ずつを高く上げます。  
③ 左右交互に20回を目安に行います。  
足は90度まで高く上げましょう。  
姿勢が崩れがちな、後ろかがみにならないように注意！

**効果**  
歩行時の足の上がりが高くなり、つまづきにくくなります。  
膝折れにくくなります。

**ポイント**  
姿勢を真っ直ぐにした状態で行うと効果的です。

**座位で行う場合**

① 椅子に浅く座ります。  
② 姿勢を正し、片足ずつを高く上げます。  
③ 左右交互に20回を目安に行います。  
姿勢が崩れがちな、後ろかがみにならないように注意！

**効果**  
歩行時の足の上がりが高くなり、つまづきにくくなります。

**ポイント**  
姿勢を真っ直ぐにした状態で行うと効果的です。

動画 (YouTube) で確認  
（おすすめの歩行AI）の  
C: 足踏み運動 (動画)

「AI歩行分析トルト」を通じて、全職員一丸となり、ご利用者一人ひとりに合わせた最適な健康サポートを推進してまいります。

ご利用方法や体験利用など、ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先  
葵の園・仙台東  
通所リハビリテーション  
担当：佐々木・千田  
TEL：080-8898-0633